

# ばらんす

■ 編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課女性企画担当 〒324 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718 ・ FAX 0287-24-2528

## 「おおたわら女性プラン」紹介

本市では、「男女共生社会の人づくりと住みよいまちづくりをめざして」を指針とし、「おおたわら女性プラン」を平成八年六月策定いたしました。この女性プランは「教育」「社会参加」「労働」「福祉」「健康」の五つの分野（基本目標）にわたって策定されています。今後の施策推進の要約を紹介いたします。

### 一、男女平等意識の啓発と高揚（教育）

推進項目は「学校教育の推進」、「地域教育の推進」、「家庭教育の推進」の三つの項目をかかげています。内容は、教育活動を通して児童生徒に、男女平等と相互理解及び協力についての教育の充実を図ることをめざしています。

また、生涯各期の学習環境の整備や女性問題の理解と平等観の育成・啓発を進めることをあげています。

### 二、女性の社会参加の促進（社会参加）

推進項目は「男女平等社会への意識改革の推進」「政策・方針決定への参画の促進」、「地域活動への男女共同参画の促進」、「国際社会への貢献の促進」の四つの項目をかか

げています。

内容は、広報紙等による啓発活動をはじめ、女性問題に関する情報を提供し、男女平等意識の高揚をめざしています。

また、各種委員会・審議会への女性の登用や参画への条件整備をすすめるとともに、地域リーダーの養成や研修につとめることをあげています。

### 三、働く女性のための条件と環境の整備（労働）

推進項目は「雇用の分野における男女平等な機会と待遇の改善」、「多様な就労形態における労働条件の整備」、「自営業・農業・パートタイム等労働条件の整備」の三つの項目をかかげています。

内容は、男女平等な雇用の機会や就労機会の均等化、労働諸制度の啓発・普及を積極的にすすめることをめざしています。

また、再雇用制度の活用や高齢者の職場進出、女性の労働条件の向上や改善をすすめ、その促進をはかることをあげています。

### 四、女性の福祉の向上と家庭生活（福祉）

推進項目は「高齢者の介護対策の強化と推進」、「高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進」、「心身障害児（者）

の在宅福祉の充実と社会参加の促進」、「児童福祉の充実」、「母（父）子家庭への福祉の充実」の五つの項目をかかげています。

内容は、高齢者に対する介護施策の充実や生きがい対策の充実、社会参加をすすめることをめざしています。

また、心身障害（児）者とその家庭に対する福祉の充実、児童保育の充実、一人親家庭の支援の充実をすすめることをあげています。

### 五、母性の尊重と健康の増進（健康）

推進項目は「男女共生社会の保健施策の強化」、「親子の保健対策の強化と推進」、「高齢者の社会参加のための健康教育の強化」の三つの項目をかかげています。

内容は、健康づくり、疾病予防、母体の健康、食生活の改善、生活環境の確保およびスポーツ活動の推進を図ることをめざしています。

また、親子の保健指導の充実、母子の医療対策、高齢者等の健康管理をすすめることをあげています。



## 戦後女性のあゆみ（2）

総理府編「女性の現状と施策」（平成七年版）を資料に編集いたしました。

- 昭和四十二（一九六七）
  - ・ 総理府に婦人関係の諸問題に関する懇談会設置
- 昭和四十五（一九七〇）
  - ・ 家内労働法公布
- 昭和四十七（一九七二）
  - ・ 勤労婦人福祉法公布
- 昭和五〇（一九七五）
  - ・ 衆参両院で「国際婦人年」にあたり、婦人の社会的地位の向上をはかる決議」採択
  - ・ 教員・看護婦・保母等に関する育児休業法公布
- ・ 総理府に「婦人問題企画推進本部」設置、総理府婦人問題担当室業務開始
- ・ 「婦人問題企画推進会議」スタート
- 昭和五十一（一九七六）
  - ・ 改正民法、戸籍法公布施行
- 昭和五十二（一九七七）
  - ・ 婦人問題企画推進本部、国内行動計画決定
  - ・ 婦人問題企画推進本部、「婦人政策決定参加を推進する特別活動推進要綱」決定（つづく）

# 男女共同参画社会づくりを

## 目指して (講演要旨)

去る平成八年九月二十九日、国立教育会館で開催された「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」での、上智大学教授猪口邦子先生の講演要旨です。

### 世界との連帯を

。現在、日本でも女性問題を解決していく気運が高まりつつあり、女性自身が互いに協力し、連帯していかなければならない時でもある。

。そのためには、常に世界との連帯と、世界の目指すところを考えながら、自分の持ち場を大切に、女性の立場で新しい時代を切り拓いていくことが重要である。



### 自信をもって

。世界女性会議(北京)で「女性のエンパワメント」がキーワードとなったが、女性自身がまず自信を持つことと自信をつけ合う場が必要である。

。意思決定機関に女性が参画するためには、「ひるまない」ことと同時に、同性のサポートが必要である。と、ともに育児・介護サポートが、絶対必要である。

また、所得保障も考えなければならぬ。し、育児就業・介護就業ができる体制を考えるシステムが必要である。

### 仕事に

### プラスアルファを

女性が、なんらかの仕事を持ち、意思決定に参加できるようになったときは、男性と違うポイントのある仕事や、プラスアルファのある仕事を

やってもらいたい。  
。このことを心がけることによって女性の参画と、男性に対して積極的にその意味を理解してもらうことができると思う。

### 世界に目を

。男女共同参画社会を考える時、日本だけでなく世界のパートナーシップで考えることが大切である。

常に、世界全体に目を向けて…。

。最近、大きな世界会議が開催されるが、単なる意見交換の場、認識を共有する場だけでなく、これからの政策分野を貫く「知的な概念」を打ち出す場になっているという特徴を持っている。

例えば、国際人口・開発会議(カイロ)では、「リプロダクティブヘルス/ライツ」や世界女性会議(北京)の「エンパワメント」などである。

### 知的概念の提唱を

。これからは、知的な概念を日本から提示し、知的貢献をなすべきである。

。そのためには、ローカルな問題だけでなく、世界の問題を把握する必要がある。

そして、これからはその時代に共通する分野の問題を見る目、総合する力を養ってきたい。

### 女性の寄与に期待

。これからは、二十一世紀に向けて人類社会は、どういうところに努力を傾けるべきか、そこにおける考え方、思想とは何なのかの発展に、女性も寄与すべきであり、私たちの世代では、是非それをやっていきたい。

※1 エンパワメント

「力をつけること」の意

※2 リプロダクティブヘルス/ライツ

「性と生殖に関する健康・権利」の意

## 季節の暦

### 流し雛

3月3日の夕、節句の行事が終わると人形(ひとがた)を川や海へ流して、けがれを祓ったが、これを流し雛と呼ぶ。災厄を人形に託して流すという雛祭りの原型を伝えている。飾りを目的とする立派な人形が広まったのは意外に新しく、



もともとは紙や土で作った素朴な人形であった。この人形に、身のけがれを移して流し、不浄を祓ったのが雛祭りの起りである。

## ニューストピックス

### 大田原市女性のつどい開催

去る1月25日(土)市女性連協主催の「第13回女性のつどい」が開催されました。

約270名が参加して「男女共生社会をめざして」をテーマに、シンポジウムが行われました。また、講談師の宝井琴桜さんが「山下さんちの物語」と題して講演しました。

特集



講演するサッチャー女史

サッチャー女史の記念講演に参加して

元町一丁目 菊池 恵子

マーガレット・サッチャー女史が、日本女性会議'96 都宮に来る。女史は、「鉄の女」「鉄の宰相」と言われた英国の前首相である。

フォークランド戦争、対ソ強行論者、先進七ヶ国首脳会議(サミット)での雄弁等で、私たちの記憶にもまだあたらしいものがあります。その女史が、「世界と日本」というテーマで、講演されるというので、私は二ヶ月前応募したところ、全国四千人の中から、やっとのことで、講演会に参

加することが出来ました。

私の指定席は、大変よい場所であり、サッチャー女史の美しい姿をよく見ることが出来ました。七十二才にしては力強い言葉(キングズ・イングリッシュ)で熱弁されました。

講演の主旨は「性別に関係なく、何が出来るか、能力が重要である」「今世紀、形づくったことは科学の発展、イデオロギーの闘いであった」「現在、世界では麻薬、テロリズム、高齢化等の問題が山積している」「日本は、もっと世界に目を向けて門戸を開くことが重要である」といった内容でした。まさしく、女性でも能力さえあれば、女史のように、世界をまたにかけて活躍出来るのだと感動し宇都宮を後にしました。



日本女性会議

'96うつのみや

下石上 吉田 愛子

日本女性会議は、全国から三千余名の参加で、三日間宇都宮市で開催された。

日本女性会議'96に参加して



男女共生社会の実現を目指して、多くの分野で熱心に討議され、会場は熱気に溢れ意識も高まりました。

開会セレモニーに続いてNHK解説委員小宮山洋子氏の爽やかな司会で、シンポジウムに移り、女も男も自立し豊かに生きる為の努力が必要、

制度は確立されても社会通念が実質的には意識が進まない、女性の行動力と、ネットワークの必要性を強く感じました。また、文化会館前には、旭幼稚園児の歓迎の小旗の波、颯爽と会場に向かう前英国首相サッチャー女史は、園児との握手も楽しそう。

「女性の閣僚として首相を務める気持ちは」と、よく聞かれるが、「性別に関係ない、何が出来るかが重要なのです」科学技術の発展により地球の産業経済は一変し、欧米に多く存在していた工業センターは、アジア、太平洋地域に移っている。

「プロセスは日本より」と力強く歯切れよく呼びかける。聞く人の心に深く生き続けるでしょう。この機会に恵まれましたことを感謝申し上げます。

日本女性会議に参加して

日赤 手塚美恵子

「行動は力、ともにエンパワーメント」と題したシンポジウムでは、様々な意見を聞き、行動的な女性の素晴らしさを感じた。反面、社会に目

を向け、考えて行動してない自分自身を反省した。女性の地位向上のための意識改革を男性に求める前に、まず、女性自身の中にある女性への意識改革が必要なのではあるまいか?

基本的には、その人が何が出来るかによって、それぞれが、自分の持っている能力を十分に発揮でき、認められる社会であればいいと思う。そして、女性自身が、社会に向かって、自分の持てる能力を積極的にアピールし、積極的に社会参加する姿勢を持つことが大切なのではないだろうか。

そのためにも、社会情勢に関心を持ち、そのことに対して自分なりの意見を持つ必要があると思う。私自身、唯、漫然と日常を過ごしているのではなく、様々な事象に対する、興味や関心を高め、積極的に行動できる自分づくりをしていく必要性を、この会議に参加して再認識させられた。



分科会会場

寄稿

栃木県女性の海外研修に参加して

大神 伊藤千代子

ニュージーランドもオーストラリアも自然あふれる美しい国でした。そして、障害者・弱者を受け入れ、女性の社会進出が進む国でもあります。

オーストラリアでは、勤務時間を上回る残業収入に対し高税率が課せられるため、残業が少ないこと、税制の違いから、夫一人で収入を得るより、夫婦で働く方が税率が低いことなど、女性の社会進出を促す要因を学ぶことができました。

クライストチャーチ市の女性議員からは、市民の声を大切に、子供の将来を見据えた政策を伺いました。訪問した福祉や環境保護施設では責任者に女性が増えており、「自信がある」と何でもできる」と真の自立を目指して力をつけ、問題解決へ向けて生き生きと努力している姿に勇気づけられました。

ポランティアの活躍も目を見張るものがありました。スタッフや政府の財政援助は少なく、ポランティアは多くいました。社会問題を市民が自らの問題としてとらえており、「自分達のことですから当たり前です」と資金集めにも積極的に参加しています。

人権や平等に対する徹底した考え方、海外へ出て初めて

実感できたこともあり、多くのことが学べた12日間でした。最後に海外研修の機会を与えてくださった関係各位の皆様にお礼を申し上げます。



ニュージーランドホームステイ先にて

寄稿

栃木県青年海外研修に参加して

下石上 廣 勝久

私は昨年の秋に栃木県の青年海外研修に参加し、十二日間にわたってイギリスとフランスの二カ国を訪問してきました。

県全体から集まった三十名で団員を構成し、団の愛称をヨーロッパに吹く気流にちなみまして「偏西風」と名付けました。

海外旅行はおろか、飛行機すら乗ったことがなかった私にとっては、体験する全てのことから初めてで、新鮮さを感じました。

現地では色々な方々と交流を持つことが出来ました。イギリスでは交流キャンプという形で現地の方々と一緒に施設に泊まって、文化交流やスポーツ活動を行いました。またフランスにおいては、三日

間という短い期間でしたが、ホームステイを体験することが出来ました。フランス語など全くわからなかったこともあり、行く前は不安もありました。しかし実際のフランス人の家庭の中に入ってみると、家族の皆さんが温かく迎え入れてくれて、私のことを一生懸命理解しようとしてくれて、本当の家族の一員のように楽しく過ごすことが出来ました。

また、行く先々で見た美しい街並み、風景、名所には、感動を覚えました。

今回の素晴らしい体験を通して学んだことを今後の自身の活動に活かし、日本において「偏西風」の風を吹かせていきたいと思っております。

最後にこの研修の参加にあたりまして多大なお世話をしていただきました大田原市の関係者の方々にお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。



フランス ホストファミリーと

ひとくち・インフォメーションボード

バルティオープン1周年記念事業

黒沼ユリ子Talk & Music

「メキシコより熱き思いを」

日時 平成9年4月8日(火)

午後6時開演

会場 とちぎ女性センター

バルティホール

入場料 2,000円(全席自由)

チケット販売、その他詳細については、とちぎ女性センターバルティへ。

TEL 028-665-7700 FAX 028-665-7722

～とちぎ女性センターからお知らせ～

★女性センターバルティから

施設紹介のために作製したビデオが送付されました。生涯学習課で保管していますので、ご活用下さい。

「ACTIONバルティ～今、あなたが主役～」

お問い合わせ先

市教育委員会生涯学習課女性企画担当

TEL 23-8718 内線724

★第49回婦人週間(4/10～16)

とちぎ県民のつどい

婦人週間を記念し、男女双方が理解し、協力しあい、共に自分らしい生き方を実現できる社会を築いていくために努力することを目標として実施します。

期日 平成9年4月12日(土)

場所 とちぎ女性センター



★平成9年度栃木県女性の海外研修

女性の地位向上を図るため、国際的視野を持つ地域のリーダーを育成することを目的として毎年実施されています。参加募集については、4月1日号の「広報おたわら」でお知らせします。

★「バルティ情報ライブラリー」から

図書の貸出を行っています。

お問い合わせ TEL 028-665-7700

編集後記

枝塔に鳩多き日や卒業す

草田男

人生の節目の時節が、今年も巡って参りました。「ばらんす」第二号をお届けいたします。日本女性会議が本県を会場に開催され、大変意義深い年度になりました。本市からもたくさんの方が参加されました。これを機に男女共生社会づくりへ大きく前進すればと願っています。

